

平成 22 年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告書

平成 23 年 3 月

埼玉県図書館協会 公共図書館部会
図書館ネットワーク専門委員会

報告書刊行によせて

いつも埼玉県図書館協会図書館ネットワーク専門委員会の活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。当委員会では今年度の研究テーマを「新たな埼玉県内公共図書館総合目録システム構築の研究」として、1年間その可能性について研究を続けてきました。本書は、図書館ネットワーク研修会の講演記録と当委員会の活動報告として刊行するものです。

近年、図書館サービスに対する利用者の要求は、より高度化専門化されています。それを受けて埼玉県内の公共図書館の相互協力は、全国的にもトップレベルの水準で利用者への資料提供に応えています。それぞれの図書館においては、図書館協力の担当が「埼玉版 ISBN 総合目録」と「埼玉県公共図書館等横断検索システム」の2つのツールを使い、相手先図書館の状況も確認しながら、迅速な資料提供に努めておられます。図書館協力の担当は、2つのツールが一緒になったものが欲しいと少なからず思っているのではないのでしょうか。

そこで図書館ネットワーク専門委員会では、今年度「新たな埼玉県内公共図書館総合目録システム」に利用できるものとして、また ISBN の付かない資料の保存への利用も考慮して、図書館システム「Enju」の可能性を研究してきました。詳しくは研究報告に述べていますので、ぜひご一読ください。

また、2月に開催した研修会の記録として、3人の講師の講演内容を集録しています。昨今図書館においても Web を利用した様々なサービスが展開されている状況を踏まえ、「Web を使った図書館の新しいサービスを考える」という研修テーマのもと、千葉県野田市立興風図書館の川嶋齊氏から「先進的な図書館 Web サービスについて」、国立国会図書館の原聡子氏から「国立国会図書館サーチについて」、また、さいたま市立中央図書館の大木隆志氏から「オープンソースの図書館システム『Enju』について」という演題で講演いただいたものです。みなさまの所属の図書館でも使える参考になるお話が頂けたと思います。

図書館の置かれている現状は厳しいと言わざるを得ませんが、一方で平成の大合併が一段落して埼玉県内でも複数館が設置されている自治体が増加しました。図書館ネットワークをこれからは自治体の中でいかに構築できるのか、そこに学校を含めることができるのかなど、各自治体内の図書館が抱える新たな課題かもしれません。

本報告書は図書館ネットワーク専門委員会から、今後の埼玉県の図書館協力への一つの提案です。埼玉の図書館がさらに利用者の頼れる存在になれるよう、図書館職員のみなさまと一緒に考えていただけましたら幸いです。

平成 23 年 3 月

図書館ネットワーク専門委員会委員長 油橋將行

目次

報告書刊行によせて

第1章 図書館ネットワーク研修会	1
講演1 「先進的な図書館 Web サービスについて」 (講師：野田市立興風図書館 川嶋 斉 氏)	3
講演1 資料	8
講演2 「国立国会図書館サーチについて」 (講師：国立国会図書館 原 聡子 氏)	23
講演2 資料	26
講演3 「オープンソースの図書館システム『Enju』について」 (講師：さいたま市立中央図書館 大木 隆志 氏)	32
第2章 新たな埼玉県内公共図書館総合目録システム構築の研究	35
平成22年度図書館ネットワーク専門委員会事業報告	55
平成22年度図書館ネットワーク専門委員会名簿	56